



かやきのワクワク大作戦!



令和8年 8月 9日
長崎市立蚊焼小学校
校長 大石 信弥

夏休みいかがお過ごしでしょうか。今年の猛暑は一段と激しく、なかなか日中に外で活動することはできなかったのではないのでしょうか。

また、令和8年熊本地震は、長崎市も震度3を記録し大変心配されました。この地震により、命を落とされた皆様に謹んで哀悼の意を表するとともに、現在も避難生活を強いられている方々が一日も早く安心した生活を取り戻すことができるよう願っております。

さて、本日の登校日、長崎原爆祈念の日です。学校では、平和集会を行い、皆で平和の大切さについて考えました。

平和集会

平和集会で子どもたちにお話したことを掲載します。

8月2日蚊焼町
ペーロン大会より



みなさん、おはようございます。長崎市に原子爆弾が落とされて81回目の朝を迎えました。今日は、原子爆弾によって亡くなられた方々、また戦争によって亡くなられた多くの方々の霊を慰め、今を生きている私たちが、力を合わせて平和を作っていくこと、そして、81年前、長崎で何が起きたかということを決して忘れず、これから多くの人々に伝えていくこと強く誓う日です。



戦争や争いのない世界、つまり「平和」な社会が理想であることは、ここにいる皆さんはもとより、すべての人が分かっていることだと思います。

ただ、現実には、とても難しいことです。今、この時も世界では戦争が起きている場所があります。私たちの身の回りをふり返ってみると、とても小さな集団である学級の中ですら、「平和」な社会を作ることには難しいことなのです。ただ、私は、争いを減らすことはできると信じています。これから、蚊焼小学校の中で、争いを減らすために大切だと思うことを、皆さんに二つ伝えます。

一つ目は、「決まり」「ルール」を守ることです。決まりやルールはみんなが気持ちよく過ごすために決められたものです。守らない人が出てくると嫌な気持ちになる人は当然出てきます。争いをなくすためにもみんなで決まりやルールを守った生活を送りましょう。

二つ目は、「優しい言葉をつかいましょう」です。みんなが仲良く過ごすためには大切なことです。マザーテレサはこのような言葉で表しています。「優しい言葉は短くて言いやすい。でも、そのこだまはいつまでも響きます。」と。「おはよう」「ありがとう」「いっしょにやろう」「だいじょうぶ?」平和は特別な人がつくるものではありません。『ありがとう』『ごめんね』『大丈夫?』という思いやりのある言葉を使う私たち一人ひとりが、平和をつくっているのです。

さて、最後に、長崎で生活している皆さんにお願いがあります。今日の集会をとおしてみんなで考えたこと、「自分やみんなのことを大切にする」「平和のためにできることを見つけ行動する」という二つのことを心に刻み、まずは、笑顔があふれ平和いっぱいワクワクいっぱいの蚊焼小学校をみんなで作り上げましょう。1945年8月9日午前11時2分。多くの方が原爆によってかけがえのない命を奪われました。亡くなられた方々の御霊安らかにという気持ちで黙祷を捧げましょう。

